

【第1回(通算62回)】2017年5月22日(月) 10:00~17:00

【第2回(通算63回)】2017年5月23日(火) 10:00~16:50

マイナンバー普及対策セミナー (第Ⅶ期開講記念セミナー)

A | 活用戦略セミナー

新しい情報インフラを活用した地域づくりの近未来—
マイナンバー運用とカード普及
—その課題と処方箋
~マイナンバー運用に向けた準備実務とカード普及活動、住民サービス向上施策~

人工知能(AI)で変える
自治体経営・まちづくり
~ビッグデータ・オープンデータ時代のイノベーション戦略
—自治体業務改革・サービス向上への取組み~

渡邊 繁樹 氏/総務省 自治行政局住民制度課 室長
矢島 征幸 氏/茨城・五霞町 政策財務課主幹
伊藤 文徳 氏/会津若松市 市民部市民課住基グループ
千葉 大右 氏/船橋市 市民生活部戸籍住民課プロジェクト班
中田 直樹 氏/町田市総務部情報システム担当部長

横田 明美 氏/千葉大学 大学院社会科学研究院准教授
狩野 英司 氏/(一社)行政情報システム研究所 調査普及部主席研究員
戸塚 芳之 氏/掛川市 企画政策部企画政策課経営戦略係 (前:企画政策部IT政策課)
北條 佳孝 氏/水戸市 市長公室情報政策課 課長
小林 隆 氏/東海大学 政治経済学部教授

【第1回】マイナンバー普及対策セミナー (第Ⅶ期開講記念セミナー)

2017年5月22日(月) 10:00~17:00

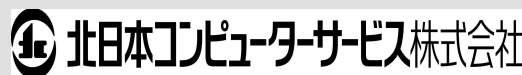
新しい情報インフラを活用した地域づくりの近未来—
マイナンバー運用とカード普及—その課題と処方箋
~マイナンバー運用に向けた準備実務とカード普及活動、住民サービス向上施策~

- 国のマイナンバーカード普及対策/マイナンバーカードの利活用と民間・住民サービス活用事例
- 自治体実践報告—茨城・五霞町、福島・会津若松市、千葉・船橋市、東京・町田市の挑戦

時	講 義 内 容	(開催要領・申込は裏面参照)
10:00	[挨拶] 電子自治体推進パートナーズ・第Ⅶ期活動の開講にあたって	電子自治体推進パートナーズ会長 諸橋 昭夫 氏
10:05 }	1. マイナンバーカードの普及と利活用	総務省 自治行政局住民制度課 室長 渡邊 繁樹 氏
11:20	(1) マイナンバーカードの普及状況 (2) ワンストップカードプロジェクト (3) マイナンバーカードの利活用方策 (4) 民間における活用事例	<質疑応答>
	2. 自治体の実践報告—マイナンバー運用準備とカード普及・利活用への取組み	
11:30 }	2-1. [茨城・五霞町] 住民目線のマイナンバー普及活動~草の根ローラー作戦~	五霞町 政策財務課主幹 矢島 征幸 氏
12:30	(1) はじめに (2) 見てもらうアイデア (3) 分かってもらうアイデア (4) 申請をしてもらうアイデア (5) 使ってもらうアイデア (6) 広報戦略の成果 (マイナンバー・マイナンバーカード広報大賞(広報企画部門)受賞)	<質疑応答>
13:20 }	2-2. [福島・会津若松市] マイナンバーカードのメリットをつくって行こう!!	会津若松市 市民部市民課住基グループ 伊藤 文徳 氏
14:20	(1) はじめに (2) 印鑑登録証!! (3) コンビニ交付サービスが窓口で!! (4) 市民課以外の取組み紹介	<質疑応答>
14:30 }	2-3. [千葉・船橋市] マイナンバーカードを活用した住民サービスの向上と業務改革	船橋市 市民生活部戸籍住民課プロジェクト班 千葉 大右 氏
15:30	(1) 業務改革モデルプロジェクトへの挑戦 (2) 総合窓口化の検討 (3) アウトソーシングの検討 (4) 出先窓口のワンタイム化	<質疑応答>
15:40 }	2-4. [東京・町田市] マイナンバー運用の準備~インフラ基盤整備とマイナンバーカード~	東京・町田市総務部情報システム担当部長 中田 直樹 氏
16:40	(1) はじめに—町田市って (2) マイナンバー制度対応 (3) マイナンバーカード利用に向けての課題	<質疑応答>
17:00 終了	第Ⅶ期の活動及び協賛企業のご紹介	電子自治体推進パートナーズ副会長 榎並 利博 氏

(終了後)情報交流・交流会(講師・希望者/会費制)

「電子自治体推進パートナーズ」第Ⅶ期事業[戦略セミナー]を応援します



特別協賛(会場提供)



人工知能(AI)で変える自治体経営・まちづくり

～ビッグデータ・オープンデータ時代のイノベーション戦略—自治体業務改革・サービス向上への取組み～

- AI活用(導入)と自治体・市民—AIネットワーク社会推進と業務改革・サービス向上の可能性・期待・課題
- (掛川市)対話型AIの「問合せ対応サービス」実証実験 / (水戸市)ビッグデータ時代の活用への取組みと期待
- AIは電子自治体政策を変革する—ビッグデータ・オープンデータ活用と人材育成・予算

時	講義内容
10:00 ～ 11:10	<p>1. AI活用への期待と課題—AIネットワーク社会の推進に向けて 千葉大学 大学院社会科学研究院准教授 横田 明美 氏</p> <p>(1) AIネットワーク社会への期待 (2) 社会の構造変化とマルチステークホルダー (3) 進展段階に応じたリスク (4) 法政策上の課題 (5) 自治体に期待される役割</p> <p style="text-align: right;"><質疑応答></p>
11:20 ～ 12:30	<p>2. AIの行政への導入—業務改革、サービス向上への期待と今後 (一社)行政情報システム研究所調査普及部主席研究員 狩野 英司 氏</p> <p>(1) AIの導入と業務改革 (2) AIが行政サービスに与えるインパクト (3) 行政へのAI導入ステップ (4) AIの限界と課題 (5) 今後の可能性と展望</p> <p style="text-align: right;"><質疑応答></p>
13:20 ～ 14:20	<p>3. (静岡・掛川市)対話型人工知能による自治体用「問合せ対応サービス」の実証実験—成果と今後の対応 掛川市 企画政策部企画政策課経営戦略係 戸塚 芳之 氏</p> <p>(1) 対話型人工知能と問合せ対応サービスの概要 (2) 実証実験実施の背景 (3) 実施体制と実験内容 (4) 実験の成果と課題 (5) 今後の展開 ※以上の内容でお話いただく予定です。</p> <p style="text-align: right;"><質疑応答></p>
14:30 ～ 15:30	<p>4. 茨城・水戸市が考えるビッグデータ活用時代の自治体のあり方について 水戸市 市長公室情報政策課 課長 北條 佳孝 氏</p> <p>(1) 水戸市のご紹介 (2) 取組みを始めた経緯 (3) これまでとこれからの取組み (4) 取組みによって見えてきたこと (5) 今後に向けて</p> <p style="text-align: right;"><質疑応答></p>
15:40 ～ 16:50	<p>5. 人工知能が変える電子自治体政策～AI活用のための人材育成と予算確保～ 東海大学 政治経済学部教授 小林 隆 氏</p> <p>(1) 縮減社会とAI (2) なぜ自治体AIが必要なのか (3) 人工知能の特徴と自然知能の特徴 (4) ビッグデータ・オープンデータとAI (5) 人材の育成と予算の確保</p> <p style="text-align: right;"><質疑応答></p>

(終了後)情報交流・交流会(講師・希望者/会費制)

【戦略セミナー開催要領】

[会場] 内田洋行 東京ユビキタス協創広場CANVAS
(東京都中央区新川2-4-7) ※地図は申込後送付

【情報交流】

終了後に講師と参加者(希望者)による交流・交流会(会費制)有。

[参加費] 1名様/1回当たりの料金

第1回		1名参加	第1回開催 は開講記念 特別価格	第2回		1名参加	2名以上の参加
行政・議員	一般	10,000円		行政・議員	一般	15,000円	14,500円
		20,000円				30,000円	29,000円

※第1回と第2回は別料金となります。またメディア参加の設定はございません。

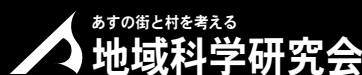
■下記申込書に所要事項を記入の上送付下さい(FAX/メールは下記HPから申込み下さい)。

■支払方法: 請求後の振込・郵便振替・当日払い

請求書等書類が不要の方は開催日までに右記口座へ振込をお願いします(受講証/会場地図はFAX送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点を明記下さい)。

■支払(振込) みずほ銀行麹町支店 普通1159880
口座 三井住友銀行麹町支店 普通7411658
三菱東京UFJ銀行神田支店 普通5829767
郵便振替:00110-8-81660 口座名: 榊地域科学研究会

お申し込み・お問合せ【事務局】



東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993 〒102-0082
URL: http://cloud.chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書(年 月 日) 希望欄にレ印を入れて下さい】

- 第1回参加 「マイナンバー運用とカード普及—その課題その処方箋」(第VII期開講記念セミナー)
- 第2回参加 「人工知能(AI)で変える自治体経営・まちづくり」

団体・所属
(請求書等宛先名)

住所〒

TEL FAX E-mail 連絡担当者

参加者氏名 所属部課役職名 参加者氏名 所属部課役職名

参加者氏名 所属部課役職名 必要書類〔納品書() 請求書() 見積書() 領収書()〕
支払方法〔銀行振込() 郵便振替() 当日払い()〕